

「インフラストラクチャー工学概論」(第1版第1刷:平成23年3月23日)正誤表 オーム社

頁	行・箇所	誤	正(下線部分)
ix	11行目	Rensselaer Polytechnic	Rensselaer Polytechnic <u>Institute</u>
2	図1.1の文献番号	地球表層での水の量 (3)	地球表層での水の量 <u>(1)</u>
4	図1.2	グラフ中の1980年の内訳数値が抜け	生活用水： <u>128</u> 、工業用水： <u>152</u> 、 都市用水： <u>280</u> 、農業用水： <u>580</u>
5	表1.3	A/B	<u>B/A</u>
17	表1.9	×2000	<u>A</u> ×2000
50	15行目	式 (2.1) 中の単位	式 (2.1) 中の単位は[ <u>Ω/km</u> ]
53	5～6行目	電流容量からみて正側	電流容量からみて <u>架線側</u>
53	10行目	事故点のアーキ降下などに・・・	事故点のアーキ <u>電圧</u> などに・・・
55	4行目	第4章2.6.2項・・・	第4章 <u>2.5.2</u> 項・・・
59	11行目	(1)・・・漏れインピーダンス	(1)・・・漏れ <u>インダクタンス</u>
59	12行目	(2) 架線のインピーダンス	(2) 架線の <u>インダクタンス</u>
59	15行目	(5)・・・漏れインピーダンス	(5)・・・漏れ <u>インダクタンス</u>
59	17行目	共振回路インピーダンス	共振回路インピーダンス <u>Z</u>
60	3行目	$2\pi f$ より,	<u><math>\omega=2\pi f</math></u> より,
60	(2.13) の式	式の単位が抜け	単位として[ <u>Hz</u> ]を付ける
60	最下行	(1)・・・漏れインピーダンス	(1)・・・漏れ <u>インダクタンス</u>
61	1行目	(2) 架線のインピーダンス $L_F=0$	(2) 架線の <u>インダクタンス</u> $L_F=0$ [ <u>mH</u> ]
61	4行目	(5)・・・漏れインピーダンス	(5)・・・漏れ <u>インダクタンス</u>
63	下から2行目	新幹線電車の技術開発の一例	<u>東海道・山陽新幹線の歴代車両 (技術開発については、7.2節「新幹線電車の技術開発」を参照)</u>
111	4行目	・・・電波が進むためには0.14秒が必要・・・	・・・電波が進むためには <u>0.24</u> 秒が必要・・・
111	6行目	約0.3秒の遅延を・・・	約 <u>0.5</u> 秒の遅延を・・・
192	5行目	3.6.1	<u>3.5.1</u>
192	7行目	図4.28	<u>図4.29</u>
195	3行目	図1.7	<u>図1.8</u>

「インフラストラクチャー工学概論」(第1版第1刷:平成23年3月23日)(第1版第2刷:平成23年4月23日)正誤表 オーム社

頁	行・箇所	誤	正
43	図2.2	図下部車両に8輪の車輪	内側の各2輪は不要で、前後に2輪ずつ計4輪となる
48	図2.9	車両に8輪の車輪	内側の各2輪は不要で、前後に2輪ずつ計4輪となる
49	図2.10	車両に8輪の車輪	内側の各2輪は不要で、前後に2輪ずつ計4輪となる
87	図2.35	整流器の記号で、向かって左側の△の向き	右側の▷の向きとは反対の◁向きとなる